

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 16 日作成)

小委員会名	ヒューマンファクター建築 刊行小委員会		主 査 名：横山計三 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：持田 灯 主 査 名：岩田 利枝
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(設置目的) 近年、建築環境の分野では、ヒューマンファクターということばが多く聞かれるようになってきた。人間の行動特性などヒューマンファクターを考慮した建築計画が必要と考える。このヒューマンファクター建築の考え方、要素技術、事例を紹介するために本書を刊行する。 初年度：刊行計画の確定、執筆状況の確認、小委員会内での査読、原稿の完成 2 年度：運営委員会査読、修正、入稿、出版、正誤表の整備		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：横山 計三 工学院大学 幹事：三浦 克弘 鹿島建設 委員：野部 達夫 工学院大学、秋元 孝之 芝浦工業大学、田辺 新一 早稲田大学、 大黒 雅之 大成建設、佐々木真人 日本設計、大宮由紀夫 竹中工務店、 近本 智行 立命館大学、村上 宏次 清水建設、小林 弘造 日建設計、 島 潔 大林組、橋本 哲 ダイキン工業、鶴飼 真成 シドニー大学		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2019 年度予算	110,720 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	環境のヒューマンファクターデザイン ～健康で快適な次世代省エネ建築～
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	建築学会大会 OS：ヒューマンファクターを考慮した環境デザイン手法、2019 年 9 月実施 参加者数 約 50 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	査読結果を修正し、出版社に出稿。出版用原稿の修正を行い、2020 年 3 月刊行 (予定) となり、当初予定を完了した。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

2019 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	1) 主なスケジュール 2019 年 4 月 出版社に出稿 2019 年 7 月 初校入手 2019 年 8 月 査読依頼 2019 年 9 月 査読終了 2019 年 11 月 査読結果を修正し、出版社に出稿。 2020 年 1 月 修正原稿を受け取り、執筆者の校正 2020 年 3 月 刊行 (予定) 2) 目次案 はじめに 序文 ヒューマンファクターに至る道 ヒューマンファクター建築事例紹介 第 1 章 ヒューマンファクター建築の勧め 1-1 設備設計論の変革 1-2 ヒューマンファクターデザインのすすめ 第 2 章 ヒューマンファクター建築と社会的背景 2-1 環境共生・省エネのニーズ 2-2 居住者の健康性への関心 働き方改革へのシフト 2-3 SDGs と建築設備 第 3 章 身近なヒューマンファクター 3-1 暮らしの中の環境選択 3-2 快適感・温熱感指標とヒューマンファクター 3-3 パーソナル空調とヒューマンファクター 第 4 章 人間の行動を考える 4-1 変動する環境と快適感・温冷感 4-2 クレームの瞬間をとらえる 4-3 オフィスにおける執務者の実態 4-4 オフィスの新しい温熱環境評価 4-5 人間の行動 第 5 章 ヒューマンファクターの要素技術 5-1 環境選択行動を促す技術 5-2 装置技術：熱・空気・音・光など環境を作る技術 5-3 制御・センシング技術 5-4 統合化技術： 第 6 章 ヒューマンファクター建築のこれから 参考文献

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。